

フィリピン革命とは？

() からの独立を求めるフィリピン革命は、
1898年 () 戦争開始後、() の支援を受けた革命派は
() を革命指導者に任命して独立。
しかし、アメリカがスペインと() を締結した後は
フィリピンは() の領有地となり、革命は失敗。

スペインの植民地支配を受けていたフィリピンは
1834年マニラ開港より、フィリピン人の新興有産層が台頭。
彼らの中にはスペインに留学させるものがあられ、
留学先で高等教育を受けた者の中には、フィリピン住民を啓発し、
スペイン支配の不正を認識させる() を開始。

この動きに対して、スペインは激しく弾圧したため、
() は1887年に『我に触れるな』を著し、フィリピンにおける植民地
支配に大きな権限を有した修道会や修道士の墮落ぶりを赤裸々に描写。
ホセ=リサルはその後、1892年() を形成するも、
スペイン当局に逮捕され、流刑の後処刑。

ホセ=リサルスの流刑後、() はフィリピン独立を求める
秘密結社() をマニラ市内で結成。() は祖国フ
ィリピンの至福の回復を唱え、そのための苦難をカトリシズムにおけるキリスト受難
と対比させ、パッションとよばれるタガログ語の詩によってキリストの生涯が詠いこ
まれることで、一般大衆に拡散。

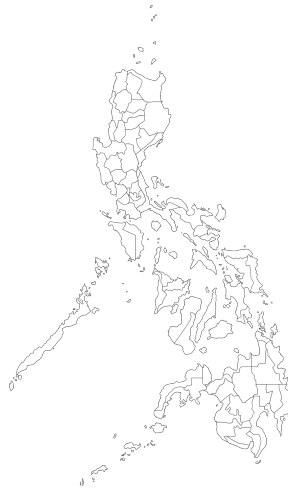
しかし、1896年スペイン当局にカティプナンの存在が気づかれたため、ボニファシオ
は武装蜂起を開始。これが() の始まり。
武装蜂起後、マニラ近郊の() 町のカティプナン組織をまとめていた
() は、() を解放。

しかしスペイン本国から援軍が到着すると、上層階級を代表する（ ）と下層階級を代表する（ ）が独立革命の主導権をめぐって対立。

結果、1897年スペイン植民地軍との戦いで勝利をおさめていたことから政治的優位になった（ ）が優勢となり、アギナルドは革命政府の大統領に就任し、（ ）を処刑。

その後アギナルドはスペインと講和し、香港へ亡命。

1898年、（ ）革命をきっかけに（ ）戦争が始まり、アメリカが勝利すると、フィリピン独立の好機とみた（ ）はアメリカ軍艦で帰国。アギナルドは革命最高指導者になり、（ ）と提携して1898年～99年までにルソン島やビサヤ諸島でもスペイン支配からの解放に成功。



しかし、植民地支配の中心地である（ ）を占領した時、米軍はマニラ市へのアギナルドの革命政府の入りを許可しなかったためマニラ近郊の（ ）を首都に、1899年（ ）（マロロス共和国）を成立。

1899年アメリカはスペインと（ ）を結び、（ ）の領有権を獲得。

これが原因で1899年アメリカとフィリピン間で（ ）戦争が勃発。

1901年アギナルドはアメリカに降伏し、革命は失敗。